

愛友会ニュース

「被団協」新聞
(愛知県版)
No.492
2023.3.6

編集・発行 愛知県原水爆被災者の会(愛友会)
〒462-0841 名古屋市北区黒川本通2-11-1コーポタニグチ201
電話052-325-7901
相談日 : 月・水・金 午後 1時~4時

愛知県代表団が現地会場にのべ75人。愛友会から6人参加

69年目の「3.1ビキニデー」集会

アメリカが太平洋ビキニ環礁で行った水爆実験の被災から69年の3月1日、「核兵器のない平和で公正な世界へ被爆者とともに前進しよう」をテーマに2023年3・1ビキニデー集会在静岡市の会場とオンラインを併用して開催されました。1500人以上が参加しました。愛知県からは、前日に行われた集会と合わせて現地の会場に、のべ75人が参加。そのうち、愛友会からは、金本理事長、沢田相談役、丹羽副理事長、大村副理事長、滝本事務局次長、福泊事務局員が参加しました。主催者あいさつした静岡県原水爆被害者の会の石原洋輔会長は、「3・1ビキニデー集会を国民平和大行進、原水爆禁止世界大会の跳躍台として成功させよう」と呼びかけました。中野弘道焼津市長、日本被団協の濱住治郎事務局次長が来賓あいさつしました。



第五福竜丸元乗組員・故大石又七さんの義妹の河村恵子さんが大石さんの人生を語り「遺志を語ることを生きる目的としたい」と訴え、高知のビキニ被災船員の原告団長の下本節子さんと南拓人弁護士がビキニ水爆被災のたたかいについて報告しました。



3.1ビキニデー集会の前日、会場で行われた分科会「被爆者援護連帯～核兵器禁止条約を力に」では愛友会から5人が参加。「黒い雨」問題と被爆二世問題について交流しました。

特別報告したジャーナリストの小山美砂さんは、広島、長崎で被爆者と認められずに切り捨てが続いていると告発。根本には内部被ばくや低線量被ばくを否定する国の姿勢があるとのべ、「すべての核被害者救済を」と語りました。金本弘愛友会理事長が、「黒い雨」地域の問題で質問、大村義則愛友会副理事長が被爆二世運動について、日本被団協の被爆二世委員会の活動を紹介しながら、発言しました。



愛知県代表団



海外代表を招いて国際会議も開催された

ビキニ被ばくで亡くなった久保山愛吉氏のお墓に 献花墓参行進

被ばくした第五福竜丸の無線長だった故久保山愛吉さんの献花墓参行進が4年ぶりに行われました。500人が参加し、核兵器廃絶の実現をアピールしました。



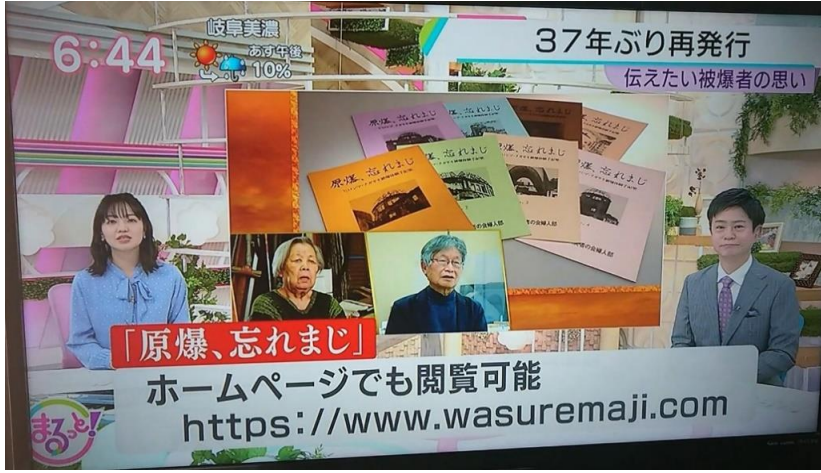
県下各地でオンライン視聴会のべ120人が参加

各1日、オンラインで2月28日、3月1日の両日配信された。各地方の視聴者も多かった。

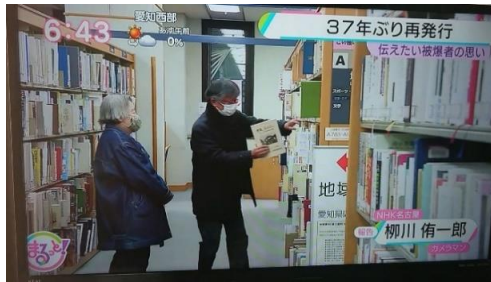


名古屋市緑区会場のもよう

「原爆、忘れまじ」復刻版 取り組みがNHKで放送



NHK名古屋放送局夕方6時10分から放送されるローカル情報番組「まるっと」で、2月28日、愛友会二世部会が取り組んだ「原爆、忘れまじ」復刻版の取り組みが放送されました。水野秋恵事務局長、杉戸孝二世部会世話人が取材を受けているもようが伝えられるとともに、愛知県図書館に寄贈されて書棚に収められているもようも紹介されました。アナウンサーから、この取り組みの大切さや、ホームページの紹介もされていました。



被爆体験きき撮りプロジェクト コロナ休止から再開へ

被爆体験の証言を青年たちが聞き、それをビデオ記録していく「きき撮りプロジェクト」、通称「ききプロ」が再開しました。これまで、約80人の被爆者の証言をビデオ記録してきましたが、コロナ禍もあって休止。今回、再開の第1回目として、名古屋の被爆者の機員富美子さんの証言を聞きました。



3月4日、名古屋市新栄町の会議室にて



核廃絶へオンライン署名

5月の先進7カ国首脳会議（G7サミット）で広島に集う首脳たちに被爆者との面会や原爆資料館（中区）の見学を求めようと、安田女子高3年の岡島由奈さん（18）と東区11たちが3月1日からオンライン署名活動を始める。約1カ月間で集め、外務省G7広島サミット事務局に提出。日本政府が首脳たちに強く働きかけるよう促す。

首脳と被爆者面会
原爆資料館の見学



ジュニアライターの岡島さんら来月から

項目。インターネットサイト「Change.org」に1日午後、署名のページを開設する。岡島さんは中学2年から中国新聞ジュニアライターとして活動している。被爆者取材を続けながら「病気や差別で苦しんできた体験を聞く大切さを痛感した」。2016年に広島で開かれた外相会合では被爆者との面会機会が設けられなかったことを踏まえ、日本政府への働きかけを決めた。国際交流のオンラインイベントで知り合った日本女子大付属中3年、大林美晴さん（15）と川崎市2と意気投合し、2人で「G7広島サミットを成功させたいU20」を結成した。岡島さんは「核兵器に依存する国のリーダーたちに、一人の人間として被爆者と同じ向き合ってもらいたい。サミットをパフォーマンスで終わらせないで」と訴えている。（湯浅梨奈）

中国新聞2023年2月17日

募金にご協力をいただき、 ありがとうございました。

（敬称略 2/1～1/28）

- ▼本田明子（北名古屋市）▼伊藤定實（江南市）
- ▼金子サヨ子（江南市）▼上村重盛（港区）
- ▼榎林喜内（豊橋市）▼鈴木剛（東京都）
- ▼小林とし子（新城市）▼櫻井富美子（港区）
- ▼金岡カズ子（豊田市）

計 30,000円

3月のおもな予定

- 6日（月）高蔵高校語り部：金本
- 7日（火）被団協新聞発送
- 18日（土）被爆者行脚まとめ報告会
：被爆者支援ネット共済
- 31日（金）愛友会理事会

今後の予定

- 5月20日（土）第58回愛友会定期総会
- 6月 被爆者相談会
岩倉、岡崎、名古屋2回
- 8月1日（火）原爆絵画展
～6日（日）
- 8月10日（木）平和のための戦争展
～13日（日）
- 8月19日（土）金山駅原爆パネル展
20日（日）
- 9月25日（月）被爆78周年原爆犠牲者を偲ぶつどい